


ギミック！

【ぎみっく】

ジャンル	アクション	
対応機種	ファミリーコンピュータ	
発売・開発元	サン電子	
発売日	1992年1月31日	
定価	6200円	

概要

- ▶ スーパーファミコンが登場し、世間が沸き立つ中で登場したサン電子（サンソフト）のアクションゲーム。同社作品へべれけを発展したようなシステムを持つ。
- ▶ ファミリーコンピュータ末期作品なので知名度は低い。
 - ▶ 必然的に入手方法も限られてくる。

システム

- ▶ 主人公は緑色の怪獣のようなぬいぐるみのような生物『ゆめたろー』。
 - ▶ 基本システムは一般的な横視点2Dアクション。ジャンプに攻撃に移動の基本動作にアイテム使用。スクロールはプレイヤーの動きに合わせて移動するが、一定のポイントでエリアチェンジもする。
 - ▶ 攻撃ボタンを長押しする事で頭の上に星を作る事が出来る。ある程度長押しして離すと星を投擲する事が出来る。
 - ▶ 星は重力に従い落下し、地面や壁にぶつくとボールのようにバウンドする。そのため、真横の敵に当てるにはかなりの慣れが必要。アクションゲームの攻撃方法としてはかなり癖が強い。
 - ▶ 星は一部敵弾を消す効果がある。適当にぶん投げて上部バリアとしても活用可能。
 - ▶ かなり高速で移動するが、タイミング良くジャンプすれば星の上に乗り高速移動・長距離ジャンプも出来る。
 - ▶ 星は画面内に一つしか存在できない。敵に当たるか落とし穴や画面外に出ると消滅する。
 - ▶ アイテムは道中で入手する事が出来、三つまでストックできる。後述の隠しアイテムはストックされない。
 - ▶ MAX所持でアイテムを横から押せるようになり、押してアイテムを二つ重ねると1UPになる。
 - ▶ 固定アイテムは死ぬと復活するため、固定アイテムが4つ以上ある場所では死に戻りで無限1UPできる。
- ▶ ライフ制。無限コンテニュー有り。
 - ▶ だが、コンテニューすると隠しアイテムが全てなくなってしまう。
 - ▶ グッドエンド条件が全ステージの隠しアイテム回収なので、必然的にバッドエンドしか見れなくなる。
 - ▶ 隠しアイテムはグッドエンド条件というより7面到達への条件なので、7面まで到達すればコンテニューしても問題ない。（コンテニュー地点も7面になる）

長所

- ▶ かなり癖の強い攻撃方法が特異なゲーム性を生んでおり、かつそれを生かしたステージ構成になっている。
 - ▶ 敵配置やステージ構成、敵行動のみならず、隠しアイテムの場所も繰り返しプレイする事で気付かせるような配置になっている。
- ▶ かなりスピーディーに進めるゲームで爽快感がある。
 - ▶ ただし、自機や星の扱いが悪いと非常に時間を食ってしまう。

- ▶ 美しいグラフィック。パステル調の可愛い世界観ながらもその書き込みは細密で優秀。
主人公や敵キャラクターはぬいぐるみと言う設定（厳密には違うが）なので可愛い。加えて主人公が助
- ▶ けるべき女の子も非常に可愛い。（ぬいぐるみ的な意味ではなく）
- ▶ それにあわせてエンディングはありがちな展開ながらも美しい。
- ▶ 拡張音源搭載。6和音同時演奏で曲自体の出来も良く、ファンタジックな世界観を彩っている。

短所

- ▶ 主人公の攻撃の癖が強すぎるので相当な慣れが必要。
 - ▶ 繰り返しプレイする事で上達させようと言う試みは随所に見られるが。
- ▶ 星の性質は上記の他に「跳ね回ってる間は消えない」という性質もあるため、星が跳ね回りやすい場所だとなかなか次の星を打つことが出来ず、テンポがとても悪くなってしまう。
 - ▶ これを解決するには星の誤射を少なくするしかない。
- ▶ 普通に敵の配置・アルゴリズムがなかなかいやらしい。
- ▶ また、上記の通りスクロール中にも行動出来てしまうため、加速度をつけたままスクロールをしてしまうと、スクロール先次第ではそのまま穴やトゲに落ちてしまったりダメージを食ってしまう。

総評

癖の強い攻撃による高い難易度とマイナー作品と言う高いハードルを持っている、ある意味シンプルな2Dアクション。しかし、その二つの要因も高くオリティのBGMとグラフィック・繰り返しプレイによる上達・単純ながらも美しいエンディングで達成感もひとしおである。

- ▶ BGMに高い評価を持つ作品だがサウンドトラックは発売されておらず、同社の「へべれけ」シリーズのサウンドトラックである「たくさんへべれけ」に未使用BGMと共に ” 一部 ” 収録されている。